

## 県政この一年 ISHIKAWA 2025

### 1月 令和6年能登半島地震から1年 追悼式を開催

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意をささげ、創造的復興に向けた決意を新たにす追悼式を、地震発災日の1日に開催しました。



### 2月 能登でのトキ放鳥が決定

本州最後のトキ生息地である能登でのトキ放鳥が決定し、7月には放鳥場所が羽咋市南潟地区(邑知潟周辺)に決まりました。気運醸成やブランド化に向けてキャラクター・ロゴマークも制作したところであり、引き続き、放鳥ケージの設置や放鳥式の開催準備などを通して、令和8年6月ごろの放鳥に向けて取り組みを進めています。



### 3月 金沢城二の丸御殿復元工事 着工

金沢城復元の総仕上げとなる二の丸御殿の復元工事に着工しました。史跡金沢城の価値と魅力をさらに高めるとともに、復元を通じ、石川が誇る伝統的な建造技術などを次世代に伝えていきます。



### 小松空港中期ビジョン策定

将来の小松空港のあり方を示す「小松空港中期ビジョン」を策定しました。「世界とつながり、地域を支え、多様な交流を生み出す日本海側の拠点空港」を目指し、ターミナルビルの機能強化などについて検討を進めてまいります。



### 4月 県立あすなろ中学校 (夜間中学) 開校

北陸初となる県立夜間中学が開校しました。十分に学べないまま中学校を卒業した方など、生徒一人ひとりの状況に応じた学びの支援を進めていきます。



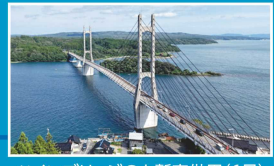
### 6月 大の里関に 県民栄誉賞贈呈

県内出身力士としては52年ぶり、史上最速となる初土俵から13場所での横綱昇進を決めた大の里関の栄誉をたたえ、県民栄誉賞を贈呈しました。



# 創造的復興元年

年間を通じて、インフラの復旧や公費解体、住まいの再建などの復旧・復興に、総力を結集して取り組んでまいりました。引き続き、創造的復興の実現に向けた取り組みを推し進めていきます。



ツインブリッジのと暫定供用(6月)



能登でのフィールドワークを通じた防災教育



輪島市に子ども向けの屋内アーバンスポーツ施設がオープン(11月)



### 8月 EXPO2025 大阪・関西万博に出展

27日から5日間を「石川の日」として、祭りや食文化をテーマとした催しを開催し、石川県の魅力を世界に発信しました。



### 9月 大雨で浸水被害の金沢競馬が再開

8月6日から記録的な大雨により、金沢競馬場は敷地全体が浸水し、競走馬が水に浸かるなど、甚大な被害が発生しました。関係者一丸となって、コースの復旧や競走馬の健康確認などを進め、9月7日からレースを再開しました。



### 令和6年奥能登豪雨から1年 献花台を設置

豪雨発生から1年を迎えるにあたり、犠牲になられた方々を追悼するため、21日に輪島市、珠洲市、能登町、県庁に献花台を設けました。



### 10月 公費解体が おおむね完了

能登半島地震などで被災した建物の公費解体について、10月末の解体完了目標をおおむね達成しました。



### 11月 関係人口ポータルサイト「いしかわのWa!」運用開始

県内で地域活動を行う団体と地域を応援したい関係人口をつなぐポータルサイトとして運用を開始しました。県内在住の方や石川県出身者に加え、地域と関わりたい都市部の方、やむを得ず二地域居住されている方など、幅広い方々を登録対象としています。このポータルサイトによって、さらなる関係人口の拡大を進めていきます。



### 復興祈念シンポジウムを開催

全国からの復旧・復興に対する支援に感謝を伝え、創造的復興の歩みと未来への展望を発信するためのシンポジウムを東京で開催しました。



### プレミアム・パスポートの 第1子世帯への拡大

社会全体で子育てを応援する気運を、より一層醸成するため、プレミアム・パスポートの対象を、全ての子育て世帯に拡大しました。



### 12月 加賀料理が登録 無形文化財に

加賀料理保存会と一体となり、担い手の育成や、文化的価値の理解促進、加賀料理を活用した誘客などの取り組みを進めていきます。

